

## 市立の小学校及び中学校全教室へのエアコン設置を求める意見書

近年、都市化の進行や地球温暖化の影響によって、夏季の暑さが非常に厳しくなっており、全国的に熱中症による死者が多数であるほど、今夏も各地で35℃を越える猛暑日が長く続く厳しい状況にある。そして、学校環境衛生基準において、望ましい温度基準は17℃から28℃と規定され、その基準からも大きく乖離しており、小学校及び中学校への猛暑対策が急務となっている。

文部科学省の発表によると、全国の公立小中学校の教室におけるエアコン設置率は41.7%にとどまっており、エアコンの普及がまだまだ十分ではなく未設置の学校が多い。

この猛暑により、熱中症となった児童が緊急搬送されるケースが相次ぐなか、熱中症で亡くなるという大変痛ましい事故も起きており、このような事態が二度と起こらないように早急に取り組んでいかねばならないと痛感するものである。

よって、政府においてはこのような状況を勘案し、子どもたちの心身の健康を守り学習に集中できる学習環境を整えるために、平成30年度補正予算案において、学校施設環境改善交付金の予算額を増額するとともに、積算を見直し補助割合を全額補助とするか、又は現在の3分の1から大幅に引き上げる事を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成30年9月28日

泉南市議会

**採決結果**

**平成30年9月28日 原案可決**